

都市再生整備計画 事後評価シート
上中居・高崎操車場跡地周辺地区

平成25年10月

群馬県高崎市

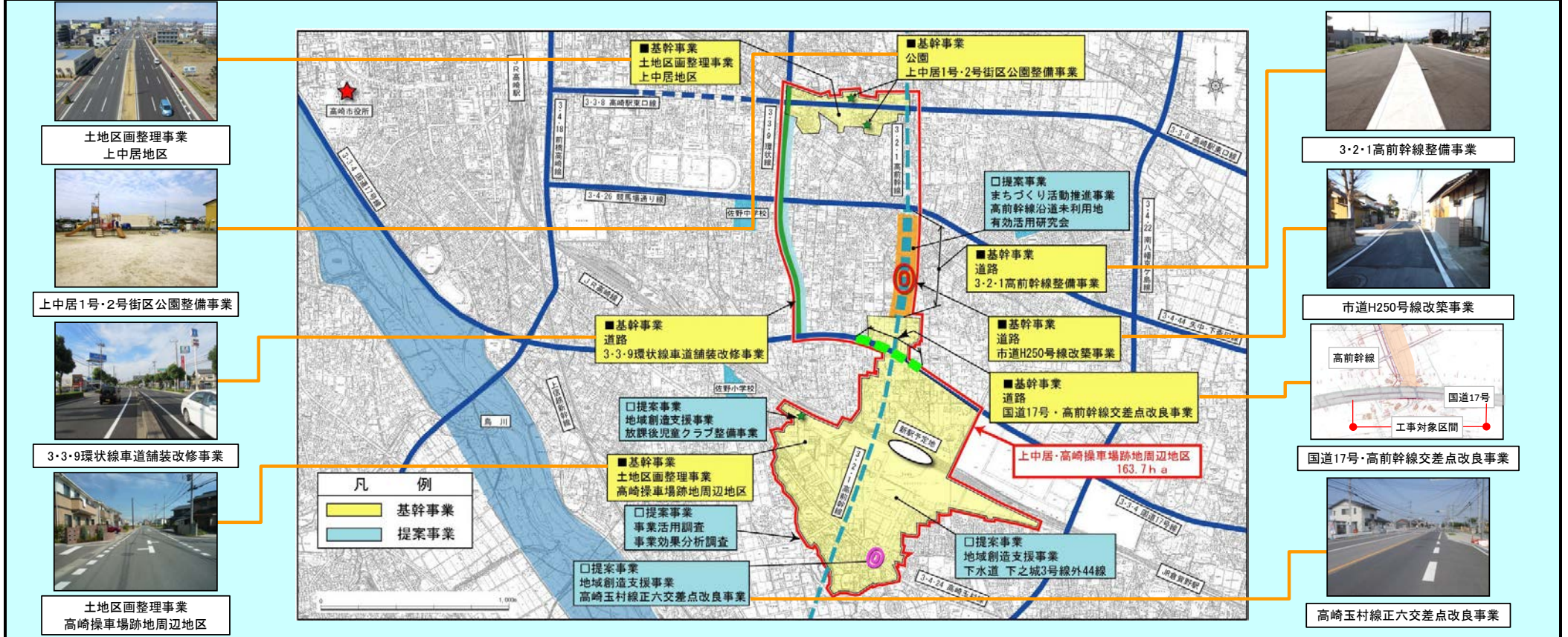
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	群馬県	市町村名	高崎市	地区名	上中居・高崎操車場跡地周辺地区			面積	163.7 ha				
交付期間	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	2,673 百万円	国費率	0.4						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(3・2・1高前幹線整備事業、3・3・9環状線車道舗装改修事業、市道H250号線改築事業) 公園(上中居1号・2号街区公園整備事業) 土地区画整理事業(高崎操車場跡地周辺地区、上中居地区)										
		提案事業	地域創造支援事業(下水道 下之城3号線外44線整備事業) 事業活用調査(事業効果分析調査) まちづくり活動推進事業(高前幹線沿道未利用地有効活用研究会運営)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(市道H180号線、市道H558号線) 高質空間形成施設(3・3・9環状線歩道整備事業、3・4・26競馬場通り線歩道整備事業)	削除/追加の理由		市内道路整備の優先順位見直しにより削除。				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	指標1への影響もあろうが、小規模細街路事業及び、通過交通路線に関する変更であるため、数値は据え置く。		
		提案事業	なし	-		-				-			
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(国道17号線・高前幹線交差点改良事業)	-		生活基盤の質的向上と高崎駅までのアクセス時間の短縮を図るため追加。				主要幹線道路同士の交差点改良であるため、指標1へのプラス評価が期待できるが、数値は据え置く。			
		提案事業	地域創造支援事業(放課後児童クラブ整備 佐野小学校区、高崎玉村線正六交差点改良事業)	-		放課後児童クラブ整備:子育て支援の充実を図り、子育て世代の就業者の定住を促すため追加。 交差点改良事業:交差点接続部が未整備で危険であり、渋滞緩和と住環境の向上を図るため追加。				市民生活へのプラス要因であり、指標1と指標2への好影響が期待されるが、数値は据え置く。			
交付期間の変更	当初変更	平成21年度～平成25年度	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				-				
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	住環境に関する満足度	%	50	H20	60	H25	56	△	あり なし	● ●	・目標値の達成は果たせなかったが、高水準の評価を得る事ができ、事業効果浸透後にはさらなる上昇が予想される。	平成26年10月
	指標2	住宅地創出による夜間人口増加	人	1,150	H20	1,210	H25	1,415	○	あり なし	● ●	・区画整理事業を中心とした良質な住宅地供給と子育て支援策等の実施は、定住意欲の増進に寄与し、目標を大きく上回る夜間人口の増加が図られた。	平成26年5月
	指標3	まちづくり市民活動の増加	回/年	0	H20	2	H25	2	○	あり なし	● ●	・市民のまちづくり活動に対する意欲の向上によって、目標値どりの活動が図られた。	平成26年5月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	高崎ビジネスパーク内の企業向け用地の販売・分譲率	%	3.8	H20			93.7			●	・区画整理事業により、高崎ビジネスパーク周辺の基盤整備が進み企業活動の効率性が向上した。また高崎市諸施策との相乗効果により、数値が飛躍的に上昇した。	平成26年7月
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 上中居地区の区画整理事業により、次世代を見据えた高崎市発展のシンボルとなる、JR高崎駅から東へ伸びる高質な都市景観が創出された。 これまで、典型的なスプロール集落の様相を呈していた、国道17号と(県)和田多中倉賀野線に挟まれた地域に計画的な基盤整備が進むことによって、明るい都市的景観が形成されており、住宅地としての魅力が向上している。 												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	事業担当部署とのミーティングの実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ●					
	住民参加プロセス	高前幹線沿道未利用地有効活用研究会の活動		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ●					
	持続的なまちづくり体制の構築	高前幹線沿道未利用地有効活用研究会の活動内容の充実		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ●					

様式2-2 地区の概要

上中居・高崎操車場跡地周辺地区(群馬県高崎市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
◎ 地域道路網等の整備による都市環境の充実 ● 幹線及び地域道路網を始めとした都市基盤施設の充実 ● 新市街地整備による高質住環境の創出 ● エリアマネジメントの啓発による住民本位のまちづくり	住環境に関する満足度	単位: %	50	H20	60	H25	56	H25
	住宅地創出による夜間人口増加	単位: 人	1,150	H20	1,210	H25	1,415	H25
	まちづくり市民活動の増加	単位: 回/年	0	H20	2	H25	2	H25
	高崎ビジネスパーク内の企業向け用地の販売・分譲率	単位: %	3.8	H20			93.7	H25



まちの課題の変化

- 「国道17号」から「3・4・26競馬場通り線」までの一定区間において、南北幹線軸の「3・2・1高前幹線」が整備されたことにより、東西広域幹線道路との格子状都市構造の形成が進み、中心市街地外縁部での通過交通車輛の分散が可能となった。
- 土地区画整理事業の進展により、高崎ビジネスパークや周辺企業就業者への良質な宅地供給が可能となり、産業活動の活性化に伴う転入人口の増加が図られた。
- 「高崎玉村線正六交差点改良事業」のピンポイントで即効性ある事業効果により、「高崎操車場跡地周辺地区」の交通渋滞が大きく緩和され、安全性の高い住環境整備が進んでいる。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- 北関東に隣り合い、地方分権社会のコアである、本市と前橋市の両中核市を強固に連結する「3・2・1高前幹線」の早期全線開通を目指す。
- 区画整理地区などの定住人口が急増した地域では、旧来の住民と転入者とのコミュニティ形成が円滑に進まないことが懸念され、地域課題の解決を目的としたワークショップ開催を働き掛けるなど、住民主体のまちづくり活動を促してゆく方針である。
- 高崎操車場跡地周辺地区での新駅予定地周辺や周辺の既設鉄道駅周辺では、自動車への過度な依存を避け、鉄道やバスなどの公共交通の利用を促進する「コンパクトで地域性豊かなまちづくり」を推進する。